

テーマ

応用行動分析学の視点から、 環境の整え方と支援のあり方を考える

2026年 6月7日(日) 14:00-16:45 [開場13:40]

📍 瓦町FLAG 8階 高松市市民活動センター会議室
(香川県高松市常磐町1-3-1)



<https://forms.gle/emSothULT3qRaG2c6>

参加無料
(定員40名)

参加申し込みはこちら
締め切り:6月4日(木)

●対象

- ・子ども、若者支援に関わる方々
(行政職、学校の先生、支援者など)
- ・教育、福祉、臨床などの分野に携わろうと
考えている学生

●プログラム

- 13:40 開場
- 14:00 開会挨拶
- 14:05 【活動報告】
一般社団法人ももと若者MAIさんによる発表
- 14:30 【基調講演】
「エビデンスに基づく子どもの行動理解と支援」
講師:竹内弓乃さん
- 15:40 【パネルディスカッション】
「子どもの行動をどう理解し、
どう支え、どう環境を整えるか」
モデレーター:長谷綾子さん
パネリスト:竹内弓乃さん、伊澤絵理子
- 16:30 質疑応答
- 16:40 閉会

基調講演

「エビデンスに基づく子どもの行動理解と支援」

講師:竹内弓乃さん(特定非営利活動法人ADDS)

パネルディスカッション

「子どもの行動をどう理解し、 どう支え、どう環境を整えるか」

モデレーター:長谷綾子さん(香川大学)
パネリスト:竹内弓乃さん(特定非営利活動法人ADDS)
伊澤絵理子(一般社団法人もも)



講演内容や講師・パネリストの詳細は裏面をご覧ください

エビデンスに基づく 子どもの行動理解と支援

エビデンスに基づく子どもの行動理解について、応用行動分析学(ABA)の視点からお話しいたします。応用行動分析学(ABA)とは、行動の理由を科学的に分析し、環境を整えることで、個々の発達と自立を支援するアプローチです。



講師:竹内弓乃さん

特定非営利活動法人ADDS共同代表。臨床心理士/公認心理師。香川県出身。慶應義塾大学文学部心理学専攻卒業、同大学大学院社会学研究科心理学専攻修士課程修了、横浜国立大学大学院学校教育臨床専攻臨床心理学コース修士課程修了。大学時代にある自閉症児とその家族との出会いをきっかけに学生セラピストの活動を始め、大学院にて臨床研究を重ねる傍ら、2009年ADDS設立。親子向け療育プログラムや支援者研修プログラム、事業者向けカリキュラム構成システムの開発などに携わる。

国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター(JST-RISTEX)「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(SOLVE for SDGs)」プログラムアドバイザー。NHK「でこぼこン!」番組委員。

(パネルディスカッションのパネリストとしてもご登壇いただけます)

パネルディスカッション

子どもの行動をどう理解し、 どう支え、どう環境を整えるか

子どもの行動をどのように理解し、どのような関わりや環境の中で支えていくのかをテーマに議論します。応用行動分析学(ABA)の視点を手がかりに、実践をもとにそれぞれの関わりを見つめ直しながら、これからの支援のあり方をともに考えます。



モデレーター:長谷綾子さん

香川大学医学部臨床心理学科准教授。専門分野は医療領域の心理臨床、多職種協働。1998年に大学院修士課程を修了後、主に公的な虐待支援に携わり、2011年より病院の心理職として精神科領域において心理検査・カウンセリングに携わった。2020年、香川大学医学部の教員として着任、以来、教育学部附属特別支援学校のスクールカウンセラーとして、また小児科クリニックの心理職として子ども・障害臨床に携わっている。

パネリスト:竹内弓乃さん・伊澤絵理子

伊澤絵理子

一般社団法人もも共同設立者。元中学校教諭。病院内学級を担当した経験から、子ども一人ひとりと丁寧に向き合う支援の必要性を実感する。また、身近な家族の不登校をきっかけに、家庭や学校に加えた第三の居場所の重要性を認識し、2018年に活動を始める。不登校や学校に行きづらさを感じている子ども・若者を対象に、居場所づくりや相談支援、表現活動などに取り組んでいる。自身も発達特性やケアラーとしての経験を持ち、当事者性と支援者としての視点の双方から、子ども・若者支援のあり方を模索している。



なにかあったとき話したい人がいる

まなびやもも

ここはあなたの“居場所”です

居場所



日中のフリースペース、 体験活動

子どもたちが気軽に集まり、おもしろいおもしろいにくつろげる場所です。少し落ち着いた雰囲気のものものは中高生に人気です。スポーツ・調理体験・ものづくりなど、体験活動もあります。

くらし



子ども食堂、フードパントリー、 ショートステイ

ももの利用者だった先輩が始めた子ども食堂「りこのキッチン」は、子どもから地域の方々までわきあいあいと集う憩いの場になっています。フードパントリーや、ももに1泊するショートステイもあります。

教育



学習会、文化芸術ゼミ、 キャリア支援

10~20代前半の子ども・若者たちが学習に励んだり、自分の「得意」を持ち寄り、様々な学習の機会を用意しています。キャリア支援では、多様な職業の方をお招きし、自分の将来を考える機会をつくります。

相談



個別相談、同行支援

学校・家庭・友だち・学習・進路のことなど、なんでも話することができます。保護者の方も面談をおこなっています。ももはアットホームな雰囲気ですので、リラックスしてお越しください。※ホームページからお問合せください

